

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		基準は満たしているが、聴覚過敏のお子様の対応についてのスペース確保についての課題がある スペース確保については、環境整備を検討している
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準は満たしているが、受け入れるお子様の状況により、プラスの配置が必要な時もある 地域のボランティアさんや法人内でのサポートもある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリー化の配慮はしてある 車椅子や歩行器の使用についての動線確保についての配慮をしていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			PDCAシートを使用した会議において、支援内容の振り返りと報告を行いながら、業務の改善に取り組んでいる
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートを実施して評価結果を業務改善に繋げている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			保護者へのアンケートを実施し評価結果を法人内での共有を図り業務改善に繋げている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事例検討等実例を交えて支援の仕方を職員間での情報交換を行い、情報の共有と支援方法を学んでいる
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様との面談により得た情報を基に、お子様のニーズや課題を理解した上で計画表に反映している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			保護者様より、診断書や検査結果、学校における支援計画の写しを頂き、参考にしている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		プランニングしているがチームでの検討が不十分な所がある
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化しないように、お子様の状況を見ながらプランニングを行いつついる
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			お子様の状況、職員配置等に合わせて分担し立案している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		放課後は、下校時間に合わせて活動を調整しているが職員体制により必要に応じて、個別活動も取り入れる事もある
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			スケジュールを書き出し事前に確認している。職員配置についても相談している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援後については、送迎の対応もあり難しい現状があるが個別記録表への記入での振り返りをしており、翌日振り返りを行いながら、改善に向け学んでいる
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人記録表を記入し確認。会議にて支援について検討、また支援計画作成時に反映、活用している

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		モニタリングを実施するにあたり、職員さんとの振り返りを行いながら、サービスの見直しをしているが不十分な所もある為、改善に向け取り組んでいく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		社会での活動を行う事で、社会性を育てる事を目標として支援を組み立てているが不十分な所がある
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には児童発達責任者が参加している。相談支援員の方への情報報告等は行う事で、連携をとっている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校とは、情報の共有・連絡調整も協力して頂いている。また、マチコミも含めて連絡体制も作れている。お子様の状況確認なども連携が取れている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアの必要なお子様の受け入れはしていませんが肢体不自由児のお子様についても主治医等との連携を図っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	就学前の情報は、相談員からの情報のみで支援しているが、今後は支援の輪を広げていく様に連携をとっていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			支援内容等、必要に応じて情報を提供している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修を受けているが、専門機関との連携などは不十分な所があるが、学んでいく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	児童クラブとの交流については、実施していく為の企画は進めている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会には参加して情報交換をし、地域の課題解決に向け活動している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用後について、FacebookやLINE等で活動報告をし、必要に応じて電話連絡も行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			お子様の状況から考えられる課題解決に向け、保護者様との面談を行い、必要に応じて関係機関との連携を図るようにしている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に書面にて説明を行っている。また支援の内容においても個別に説明を行うようにしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			個別面談・電話連絡等で傾聴している中で、関係機関へのアプローチ等行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会はないが、定期的に保護者様とのサロンを実施しながら交流の場づくりをしている。他の保護者サークルとの連携と活動の協力は行っている